

多発性硬化症協会世界連合（MSIF）の CEO が来日

MSIF の会長 Peer Baneke 氏がプライベートの用事で来日され、6月3日の午後日本 MS 協会の荒井会長の事務所を訪れた。Baneke 氏はオランダ人とのことだが、英国で 20 余年暮らしているとのこと。今年は「世界 MS デー」を 5 月の最終水曜日と設定して、その記念となるイベントが世界 66 カ国で 217 を超える規模で行われた。この記念日のために MSIF は世界的に有名な《U2》の「Beautiful Day」をバックグラウンドに流しながら多くの国で MS と日夜戦っている患者達の様子をビデオで全世界に流し、一般の人たちに MS についての理解を深めてもらい、一日も早く完治できる療法を発見し、この難病を根治できる世の中を目指すことを訴えた。Peer 氏はロンドンの本部で 8 人の部下とともに世界中の MS 患者のためにいろいろな活躍をしている。特に今回は「世界 MS デー」の制定もあり、「世界 MS デー」を世界中にアピールするため、U2 が歌っている「Beautiful Day」の無料での使用許可や、スペインの FC バルセロナで活躍中のライオネル・メッシ氏の賛同、さらには MS 患者の妻を持つアムステルダム市長のジョブ・コーヘン氏の賛同などを得て全世界に強いメッセージを伝えた。（下の写真は日本 MS 協会荒井会長の事務所にて一向かって左より荒井会長、Baneke 氏、相田）

